

教育民生常任委員会を開く

教育民生常任委員会（橋本操委員長）は2月27日に委員会を開催し、

- ① いじめ問題
- ② 国民健康保険の状況
- ③ 茂木町バイオマス（竹材利用）

の3項目について、教育長及び担当課長、担当者から、説明を受けました。

学校内のいじめの状況については、小、中学校合計で18件あり、未解決のものは2件あるとのこと、個別の事案について、解決できない理由や、いじめに対する学校の対応などについて内容の説明を受けました。

国民健康保険については、毎年、高度医療など医療費の増加により運営が厳しい状況が続いている状況にあり、平成25年度には、保険税の値上げをすることになっていきます。

医療費の削減は、健康診断を受けるなど、早期発見早期治療を心がけることや健康づくりに努力

することが必要であると考えます。

茂木町の竹材利用による堆肥製造では、住宅の回りや山林にある不用な竹を、粉碎機を使って粉末にし、木の葉と混ぜて堆肥化して活用することができます。また、粉末を山林へ散布することで、地力を高める役割も果たせるといふことでした。

当町においても、この粉碎機を導入することで、不用な竹を堆肥として再利用することが可能と考えられます。



有機物リサイクルセンター美土里館（茂木町）

庁舎建設並びに消防庁舎建設検討特別委員会の経過

▼第9回特別委員会の結果
開催日 平成25年2月6日

内容
基本構想の内容について検討。総合庁舎方式が現実的かどうか調査した上で、議会としては出張所を設けることで提言していく方向で検討することとなりました。

▼第10回特別委員会の結果
開催日 平成25年2月27日

内容
執行部に出席を依頼し、基本構想の内容について説明を受けました。

出張所の建設については、基本構想には盛り込まれていないとのことであり、総合庁舎方式と各施設のあり方については、基本計画を策定する中で検討していくという回答でした。

▼第11回特別委員会の結果
開催日 平成25年3月25日

内容
次回、執行部に出席を依頼し、山村開発センターを選定した理由について、説明を受けることにしました。

▼第12回特別委員会の結果
開催日 平成25年4月10日

内容
執行部から山村開発センターを本庁舎の建設場所として選定した理由などについて説明を受けました。

議会改革特別委員会の経過

▼特別委員会小委員会の結果
開催日 平成25年3月22日

内容
4月中に那須町議会及び大田原市議会の議会改革について、小委員会で視察を実施することになりました。

▼特別委員会小委員会の結果
開催日 平成25年4月15日

内容
那須町議会での議会基本条例の制定手続き等について

での調査

那須町議会では、今年2月に議会基本条例を制定したこと、先達事例の調査として条例制定までのプロセス及びスケジュール、条例の内容などについて、説明を受けました。

当町においては、12月定例会での議会基本条例制定に向けて、準備をしています。



那須町議会での調査



議会の常任委員会って

議会では、各事案について委員会を組織して調査を行っています。今回は、各委員会について「なかちゃん」に解説してもらいます。

議会には3つの常任委員会があって、各委員とも、5人の議員で構成され、分野ごとに担当してるんだよ。



総務企画常任委員会

- 総務企画常任委員会
- ・委員長 小林 盛
- ・副委員長 益子 輝夫

- 教育民生常任委員会
- ・委員長 橋本 操
- ・副委員長 大金 市美
- ・委員 佐藤 信親
- ・委員 益子 明美
- ・委員 阿久津武之

◎ 関係所管課

- 総務課、企画財政課、税務課、会計課、総合窓口課
- ★ 総務企画常任委員会の所管事務
- ① 町行政の総合的企画
- ② 国際交流・地域間交流
- ③ 行財政の運営及び実態
- ④ 庁舎等施設の管理状況
- ⑤ 財産の管理状況
- ⑥ 町税の賦課徴収の状況
- ⑦ 地域情報化及び行政情報化
- ⑧ 交通及び消防・防災
- ⑨ 工事等契約の状況
- ⑩ ケーブルテレビ事業

に関すること

- ・委員 岩村 文郎
- ・委員 石田 彬良
- ・委員 小川 洋一



教育民生常任委員会

★ 教育民生常任委員会の所管事務

- ① 学校施設の整備及び管理状況
- ② 生涯学習関連施設の整備及び管理状況
- ③ 生涯学習の振興
- ④ 社会体育及びスポーツの振興
- ⑤ 芸術文化の振興及び文化財保護・活用
- ⑥ 社会福祉施策の充実
- ⑦ 国民健康保険事業
- ⑧ 介護保険事業
- ⑨ 保健医療施策
- ⑩ 児童の保育及び子育て支援
- ⑪ 衛生事業及び環境保全
- ⑫ その他教育民生

に関すること

◎ 関係所管課

- 住民生活課、環境総合推進室、健康福祉課、学校教育課、生涯学習課
- 産業建設常任委員会
- ・委員長 福島 泰夫
- ・副委員長 塚田 秀知
- ・委員 鈴木 雅仁
- ・委員 川上 要一
- ・委員 鈴木 和江



産業建設常任委員会

★ 産業建設常任委員会の所管事務

- ① 商工業及び観光の振興、活性化
- ② 農業、林業及び水産業の振興、活性化
- ③ 土地改良事業の調査
- ④ 道路橋りょうの新設・改良及び管理状況

4月からの議会事務局の体制

- 猪股 併任書記
- 藤田 併任書記
- 増子 事務局長
- 板橋書記
- 加藤書記

所管事務以外にも、各常任委員会に係る請願や、陳情があった場合には、内容の審査のほか、請願者などからの意見聴取や現地調査も行うんだよ。



◎ 関係所管課

- 農林振興課、農業委員会、商工観光課、建設課、下水道課
- に関すること
- ⑤ 河川の補修及び管理状況
- ⑥ 町営・町有住宅の整備及び管理状況等
- ⑦ 公園の整備及び管理状況等
- ⑧ 地籍調査事業
- ⑨ 上下水道事業

◆◆議会も協力◆◆

「人生、いろいろどり」上映します

平成23年度に、産業建設常任委員会で調査した、徳島県上勝町を舞台として撮影された、「人生、いろいろどり」を上映いたします。

上勝町は、高齢化率が

52・4%と高齢化が進んでいる町ですが、お年寄りでもできる仕事をということ
で農協職員の発案で「葉っぱビジネス」を始めました。
料理などに添えられるもみ

じや笹の葉っぱなどの「つまもの」を高齢者が収穫し販売したところ地域の活性化を成し遂げ、日本でも最も有名な地域振興事例と
なっています。

この度、その取り組みが映画化され、町内での上映会が開催されることになりました。
那珂川町議会でも、この上映会にあたり、過去に所管事務調査を行った経緯もあり協力をすることになりました。

平成23年度に 産業建設常任 委員会で調査

平成23年度の所管事務調査で、産業建設常任委員会は、徳島県上勝町を訪問し、「株式会社いろいろどり」の状況を調査しました。

「葉っぱビジネス」は、昭和56年にJAなどが主体となって始まり、現在では、懐石料理やお弁当に添えられている「つまもの」は、JAを通じ全国の市場に販売されています。



人生、いろいろどり

吉行和子・富司純子・中尾ミエ

平岡祐太 村川絵梨 戸次重幸 キムラ緑子 大杉護 (NHK) 葉田麗 佐々木すみ江 豊原次朗 / 藤電也

主題歌: 原由子「ヘヴン」

監督: 御法川経 プロデューサー: 藤本: 西口典子 音楽: 水谷広実

エグゼクティブプロデューサー: 塚田知明, ラインプロデューサー: 平林健二, 撮影: 志野野, 美術: 金藤浩一, 照明: 大坂寛夫, 録音: 加藤昭彦, 音中博司

編集: 山中貴夫, 監音: 大野正人, 音楽プロデューサー: 御坂徳也, 監録: 吉村昌徳

costumes デザイナー: 安野ともこ,ヘアメイク: 吉野麗子/小林真由, 助監督: 浅木史仁, 制作担当: 高橋孝道

企画: 徳島県産業振興局, 徳島県上勝町産業振興課, 徳島県那珂川町産業振興課, 徳島県那珂川町議会, 徳島県那珂川町商工観光課, 徳島県那珂川町農林振興課, 徳島県那珂川町福祉センター, 徳島県那珂川町公民館, 徳島県那珂川町図書館, 徳島県那珂川町生涯学習センター, 徳島県那珂川町子育て支援センター, 徳島県那珂川町高齢者センター, 徳島県那珂川町障害者福祉センター, 徳島県那珂川町障害者就業・生活支援センター, 徳島県那珂川町障害者相談センター, 徳島県那珂川町障害者就業・生活支援センター, 徳島県那珂川町障害者相談センター

irodori-movie.jp

葉っぱを売って年商2億円—

四国いち小さな町で起こった〈奇跡〉の実話



- 上映日 / 平成25年6月23日(日) 午後1時30分
- 場所 / 那珂川町小川総合福祉センター あじさいホール
- 入場料 / 前売券1人1,000円(当日券1人1,500円)
- 問合せ / 農林振興課 Tel92-1113



上勝町の担当者からの説明